

第70回 甲南大学総合研究所公開講演会

『持続可能なインバウンド戦略を考える -観光立国論vs.観光亡国論-』

日時：2019年7月6日（土） 13:00～15:00

場所：甲南大学岡本キャンパス 1号館122教室



この数年、電子部品・デバイス等の「財輸出」とインバウンド(訪日外客)の消費という「サービス輸出」が好調で、この「2つ輸出」が関西経済を牽引してきました。しかし、米中貿易摩擦の長期化で財輸出は危うくなってきましたが、インバウンド需要はまだまだ堅調です。というのも、2025年には大阪・関西万国博覧会の開催が決定され、関西には訪日外客を誘引する多くの経済的イベントが待ち構えているからです。しかし、訪日外客数は急増する一方で、大阪や京都に偏在するという問題(オーバーツーリズム)を抱えています。観光立国が亡国に転じることを避けるためには戦略(適切な管理と規制)が必要です。

本講演会では、ビッグデータやマイクロデータを使いながら、持続可能なインバウンド戦略を考えていきます。また、関西国際空港に被害を与えた昨年9月の台風21号に関わる被害推計、大阪・関西万博がもたらす経済効果についても、分かりやすく説明し、インバウンド産業の理解を深めていただきます。



* 講師紹介 *

甲南大学 経済学部教授 稲田義久(いなだ よしひさ)氏

【略歴】

昭和51年3月	神戸大学経済学部卒業
昭和56年3月	神戸大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得
平成 4年12月	博士(経済学)(神戸大学)
昭和59年～平成 4年	神戸学院大学経済学部助教授
平成 2年～平成12年	国際東アジア研究センター客員研究員、立命館大学経済学部助教授、経済企画庁経済研究所客員研究員
平成 7年～現在に至る	甲南大学経済学部教授
平成22年～平成24年	甲南大学学長補佐・フロンティア研究推進機構長
平成26年～平成30年	甲南大学副学長
平成30年～現在に至る	甲南大学総合研究所所長
平成31年～現在に至る	アジア太平洋研究所研究統括



入 場 無 料

参加申込み不要

定員：先着140名

お問い合わせ

甲南大学フロンティア研究推進機構事務局
(総合研究所 担当)

<http://www.konan-u.ac.jp/souken/>

〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1

TEL. (078)435-2559 FAX. (078)435-2324

e-mail souken@ml.konan-u.ac.jp

・阪急神戸線岡本駅、またはJR神戸線摂津本山駅より北西約徒歩10分。

なお、駐車場設備はございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。

・兵庫県南部又は阪神地区に暴風警報が発令され、午前11時以降も継続中の場合は、当日の講演会は中止いたします。

